

カブトムシの森 林床植生調査の報告

カブトムシの森のA地区では、保全活動が林床植生に与える影響を調べるために、林床植生調査を行っています。一時期中断していましたが、2013年度に約10年ぶりに再開し、2014年度は、現在のマンパワーに合わせて方法を少し変更しました。2013年度と2014年度は1回ずつしか行いませんでしたが、2015年度は、春（4月25日）と夏（7月12日）の2回実施しました。

調査は、継続的に調査している10m×10mの区画を用いて行いました。10m×10mの調査区を4つに分け、5m×5mの区画を4つ設定しました。（調査区Ⅰ～Ⅳとしました。）5m×5mの区画それぞれについて、蕾・花・果実が見られる種を記録すると共に、それぞれの植物の被度の計測を行いました。被度は、階級の大きい方から、5、4、3、2、1、+の5つに分けられます。今回は、すべて+でしたが、+はその植物が調査区を覆っている割合は1%未満であることを示しています。

調査票は次のページに示しています。4月25日の調査で蕾・花・果実が見られたのは17種でした。そのうち11種は昨年見られたものと同じでした。表に記載している種の他に、周囲で蕾・花・果実が見られたものには、ツクシショウジョウバカマ（花）、タチイヌノフグリ（花）がありました。一方、7月12日の調査では、10種が見られました。周囲で蕾・花・果実が見られたものには、マムシグサ（実）、

イグサ（花）、ウバユリ（蕾）、ヤブコウジ（実・花）、ムラサキニガナ（花）がありました。

昨年度、目につかず、今年度見られた種としてノアザミが挙げられます。比較的、明るいところに生育する種なので、明るくなった効果が出てきているのかもしれません。

＜今後の課題など＞

今年度は、夏の調査も行いましたが、時期としてはあまりよくありませんでした。春と秋の花の境目の時期で、春と比較しても花などが見られた種は大幅に少なくなりました。（地面で目を凝らしてやっと見つかる程度の花しかありませんでした。）来年度は、夏の代わりに、秋に調査をできればと思います。

また、この調査区について、管理の方針（草刈をどうするのかなど）が明確に決まっている訳ではありません。切ってほしくないものに印をつけて、カブ森の管理の世話役に引き継ぐなど、効果的に調査を行うためには、管理の方針を明確にしておいた方がいいと思われます。

今年度は、助役の柴戸さんが下見を行ってくれ、また植物に詳しい中嶋さんが助役として加わってくれたため、スムーズに実施することができました。また、世話役・助役以外の会員にも参加してもらいました。ありがとうございました。（篠原）



4月25日（左）と7月12日（右）の調査の様子

カブトムシの森 林床植生調査表

実施日: 2015/4/25

実施者: 柴戸、首藤、小川、船越、篠原

科名	種名	被度の階級値				蕾・花・果実
		区画 I	区画 II	区画 III	区画 iv	区画 I ~ iv
キク科	オニタビラコ	+			+	蕾(花)果実
アカネ科	キクムグラ	+	+	+	+	蕾(花)果実
サトイモ科	マムシグサ	+	+	+		蕾(花)果実
スミレ科	ナガバタチツボスミレ	+	+	+		蕾・花・(果実)
ナデシコ科	ミミナグサ	+			+	蕾(花)果実
	スゲ属の一種	+				蕾(花)果実
ケシ科	ムラサキケマン	+	+		+	蕾(花)(果実)
シソ科	カキドオシ		+	+		蕾(花)果実
スミレ科	ツボスミレ		+	+		蕾(花)果実
ナデシコ科	ハコベ		+		+	蕾(花)(果実)
セリ科	ヤブニンジン		+	+		蕾(花)(果実)
キク科	ノアザミ		+			(蕾)花・果実
バラ科	ヘビイチゴ		+			蕾(花)果実
バラ科	クサイチゴ		+	+		(蕾)花・(果実)
イネ科	ミゾイチゴツナギ		+			蕾(花)果実
アカネ科	ヤエムグラ			+		蕾(花)果実
バラ科	ヤブヘビイチゴ			+		(蕾)花・果実

実施日: 2015/7/12

実施者: 柴戸、中嶋、国広、篠原

科名	種名	被度の階級値				蕾・花・果実
		区画 I	区画 II	区画 III	区画 iv	区画 I ~ iv
シソ科	ツルニガクサ	+	+	+		(蕾)花・果実
セリ科	ミツバ	+	+	+		蕾(花)果実
イネ科の一種		+			+	蕾・花・(果実)
ツユクサ科	ツユクサ		+	+	+	蕾(花)果実
ハエドクソウ科	ハエドクソウ		+		+	(蕾)花 果実
バラ科	ダイコンソウ		+	+	+	蕾(花)果実
アカネ科	キクムグラ		+		+	蕾(花)果実
キジカクシ科	ジャノヒゲ		+			蕾(花)果実
ラン科	ツチアケビ			+		蕾・花・(果実)
セリ科	ウマノミツバ				+	蕾(花)(果実)